

WebアクセシビリティAAセルフ監査シート

このシートは、WebサイトやLPのアクセシビリティAA対応のうち、「色」「フォーカス」「キーボード操作」に特化したセルフチェックを行うためのものです。AI自動化を補助的に活用しつつ、最終的な確認は人が行うことを前提としています。

1. 色の確認（視認性・判別性）

Webサイトのコンテンツが、色の違いによって適切に識別できるかを確認します。

文字と背景のコントラスト比：

- 通常の文字（18pt未満または太字14pt未満）は4.5:1以上、大きな文字（18pt以上または太字14pt以上）は3:1以上のコントラスト比があるか。
- AIツール（例：WebAIM Contrast Checkerなど）で主要なテキストと背景色の組み合わせをチェックし、問題箇所をリストアップしたか。

背景画像上の文字：

- 背景画像の上に配置された文字が、背景の明るさや複雑さに影響されず、常に読みやすいコントラストを保っているか。
- 画像の領域によってコントラストが変化する場合、文字が判読不能になる箇所がないか。

UI要素の色のみによる情報伝達：

- リンク、ボタン、アイコンなどのUI要素が、色だけに依存して情報を伝えていないか。（例：エラーメッセージが赤色のみで表示されていないか、必須項目が赤色のアスタリスクのみで示されていないかなど）
- 色覚多様性を持つユーザーでも、情報が正しく伝わる代替手段（テキスト、アイコン、パターンなど）が提供されているか。

グラフや図表の色：

- グラフや図表が、色だけに依存せず、パターン、線種、テキストラベルなどで情報を区別しているか。

2. フォーカスの確認（キーボード操作時の視覚的表示）

キーボード操作時に、現在どの要素が選択されているか（フォーカスされているか）が明確に視覚的に示されているかを確認します。

フォーカスインジケータの視認性：

- リンク、ボタン、フォーム入力欄、チェックボックス、ラジオボタンなど、すべての操作可能な要素に、キーボード操作時に明確なフォーカスインジケータ（枠線、ハイラ

イトなど)が表示されるか。

- フォーカスインジケータが背景色に埋もれて見えにくくなっていないか、または完全に消えていないか。
- AIツールでフォーカス可能な要素を抽出し、表示が弱い可能性のある箇所を特定したか。

モーダルウィンドウ内のフォーカス:

- モーダルウィンドウが開いた際、フォーカスがモーダル内の最初の操作可能要素に移動するか。
- モーダルウィンドウが閉じられた際、フォーカスがモーダルを開く前の要素に戻るか。

デザイン優先によるフォーカス消去の有無:

- CSSなどで `outline: none;` が安易に設定され、フォーカスインジケータが意図せず消されていないか。

3. キーボード操作の確認 (Tabキー、Enterキーなど)

マウスを使用せずに、キーボードのみでWebサイトのすべての機能にアクセスし、操作できるかを確認します。

主要導線の操作性:

- ヘッダー、グローバルメニュー、主要なナビゲーションリンク、問い合わせフォーム、CTAボタンなど、Webサイトの主要な導線がTabキーで順に移動できるか。
- Shift + Tabキーで逆順に移動できるか。
- EnterキーやSpaceキーでリンクのクリック、ボタンの押下、チェックボックスのON/OFFなどの操作ができるか。

フォームの操作性:

- フォームの入力欄、ラジオボタン、チェックボックス、ドロップダウンリストなどがキーボードで選択・操作できるか。
- 必須項目への移動、エラーメッセージの表示、送信ボタンの押下などがキーボードで可能か。

操作不能な要素の有無:

- キーボードでは全くアクセスできない、または操作できない要素が存在しないか。
- ドロップダウンメニューやアコーディオンメニューなどが、キーボードで開閉・選択できるか。

スキップリンクの有無:

- 繰り返し現れるナビゲーションなどをスキップして、主要コンテンツに直接移動できる「スキップリンク」が提供されているか（特に長いページや複雑なナビゲーションを持つサイトの場合）。

□ AIによるチェックリスト作成:

- AIに、確認対象ページのリストアップ、優先順位付け、確認ログのひな形作成を依頼し、チェック作業を効率化したか。

【AI自動化の活用例】

- **チェック観点の整理:** AIにWCAGのガイドラインを学習させ、特定の項目（色、フォーカス、キーボード）に関する詳細なチェックリストや、中小企業向けに簡略化したチェック項目を生成させる。
- **要注意箇所のリストアップ:** WebサイトのHTML/CSSをAIに解析させ、コントラスト比が低い可能性のある箇所、`outline: none;` が設定されている要素、Tab順序が不自然な箇所などを自動で抽出させる。
- **修正指示の下書き作成:** AIに問題点とWCAGの基準を伝え、デザイナーやコーダー向けの具体的な修正指示文（例: 「〇〇のボタンのコントラスト比が不足しています。WCAG 2.1 AA基準を満たすよう、背景色または文字色の調整をお願いします。」）を作成させる。
- **確認ログのテンプレート化:** AIに、確認日時、確認者、対象ページ、問題点、修正内容、確認結果などを記録するためのテンプレートを生成させ、継続的な運用をサポートする。

【重要事項】

- このシートはセルフチェックを補助するものであり、アクセシビリティの完全な準拠を保証するものではありません。
- 最終的な判断は、必ず人が実際の画面と操作感を確認して行ってください。
- 法律や制度に関する断定的な助言は含まれていません。必要に応じて専門家にご相談ください。